

記入例

(様式第1号)

平成 年 月 日

(あて先) 金沢市長

住所、会社名、代表者職・氏名を記載し、会社印(角印・丸印)を押印してください。(個人事業主は個人印で可)

住所(所在地):
名称:
代表者職・氏名:

印

補助事業適用申請書

新製品開発・改良促進事業の適用を受けたいので、次の関係書類を添えて申請します。

(関係書類)

- 1 開発・改良事業計画書(別紙)
- 2 企業案内・パンフレット
- 3 定款
- 4 登記事項証明書
- 5 財務諸表(2期分)
- 6 市税滞納有無調査承諾書
- 7 開発製品・改良にかかる設計図・仕様書等

一式提出してください。

適用を申請する部門・コース(いずれかに○)

申請コースを選択してください。

新製品開発部門

<input type="checkbox"/>	産学連携コース (基礎研究以外)
<input type="checkbox"/>	産学連携コース (基礎研究)

<input type="checkbox"/>	単独企業コース
--------------------------	---------

<input type="checkbox"/>	企業連携コース
--------------------------	---------

既存製品改良部門

<input type="checkbox"/>	既存製品改良コース
--------------------------	-----------

申請内容について説明のできる担当者の連絡先を記載してください。

連絡担当者

役職		氏名	
TEL		FAX	
e-mail			

別紙

開発・改良事業計画書

(1) 企業概要

企 業 名			
本社所在地	金沢市		
業 種			
設 立 年 月	年 月		
資 本 金	万円	従業員数	人
年間売上額	万円	経常利益	万円
	売上額・経常利益等は直近の決算期のデータを記載ください。		
主 要 製 品			

売上額、経常利益等は直近の決算期のデータを記載下さい。

(2) 共同研究者（研究機関）の概要（産学連携コースを申請する場合のみ記入）

研究機関名	
氏 名	
所属・職名	共同研究者のプロフィールを記載してください。 (連携先である大学・高等専門学校等は、県外の機関でも可能です)
研究成果 (論文、特許の名称等)	
得意分野	
連 絡 先	TEL FAX E-mail

(3) 開発・改良事業の概要

開発・改良テーマ	簡潔に記載してください。
事業の区分 (I～IXのどれか1つに○)	<p>【産学連携コース】</p> <p>I 環境(再生可能エネルギー関連含む)、福祉又は医療に関する事業</p> <p>II 中小企業または中小企業団体が取り組む事業</p> <p>III 上記以外の事業</p> <p>VI 基礎研究事業</p> <p>【単独企業コース】</p> <p>IV 環境(再生可能エネルギー関連含む)、福祉又は医療に関する事業</p> <p>V 小規模企業に取り組む事業</p> <p>VI 上記以外の事業</p> <p>【企業連携コース】</p> <p>VII 環境(再生可能エネルギー関連含む)、福祉又は医療に関する事業</p> <p>VIII 上記以外の事業</p> <p>【既存製品改良コース】</p> <p>IX 中小企業に取り組む事業</p>
開発・改良の目的	<p>(背景)</p> <p>※ 開発・改良する背景となった現状の問題点や技術的課題を記載してください。</p> <p>(目的)</p> <p>※ 上記の背景に対して開発・改良する目的・必要性等を記載してください。</p>
開発・改良を目指す製品の特徴	<p>(製品の特徴)</p> <p>※ 既存製品・技術との差異も記載してください。</p> <p>(開発の背景や目的と関連付けて記載してください。)</p> <p>※ 開発・改良テーマに関する基礎検討など、ここに至る準備状況を記載してください。</p>
市場規模	国内外での販売先の想定や市場規模を記載してください。
販売体制	自社及び関連企業における販促体制を簡潔に記載してください。
先発企業	国内外で先発企業があれば記載してください。
(7)の総額を記載してください	特許等を既已取得若しくは申請予定がある場合のみ記載してください。
開発・改良事業費	開発・改良事業に要する経費 円
	補助金要望金額 円

(4) 開発製品にかかる設計図、仕様書、完成イメージ等（別紙での提出も可）

(5) 開発事業の実施体制（産学連携コース、企業連携コースのみ記載）（別紙での提出も可）

※ 事業実施の流れと役割分担を、図を用いるなどして記載してください。

(6) 開発・改良スケジュール

※ 下欄の項目名は、記載例です。事業内容に相応しい項目を設定してください。

項目	開発・改良予定年月
1. 1次試作	平成30年 7月 ~ 平成30年10月
2. モニタリング	平成30年10月 ~ 平成30年11月
3. 2次試作	平成30年11月 ~ 平成30年12月
4. 試験	平成31年 1月 ~ 平成31年 2月
5. 評価	平成31年 2月 ~ 平成31年 3月
6. 製品	項目（表記は例です）ごとに、事業期間終期までの予定年月を記載してください。
7.	平成 年 月
8.	平成 年 月 ~ 平成 年 月

(7) 開発・改良事業に要する経費

※ 経費項目については、事業に相応しい項目を設定（追加・削除）してください。

※ 産学連携コースで事業期間が作成してください。

表記は例です。追加・削除してください。

（経費項目は申請要項 5. 補助対象経費 に記載の項目と一致するように記載してください。

なお、産学連携コースの共同研究契約に係る経費は「共同研究費」と記載してください。

経費項目	
機械設備費	
原材料費	
外注加工費	1,000,000円
リース料	円
システム開発経費(*)	1,500,000円
共同研究費	500,000円
工業所有権導入費	150,000円
計	5,000,000円

・別紙1「経費内訳書」の各項目における合計額を記載してください。

・外注加工費は補助対象経費総額の5割以内という制約があります。

・システム開発経費については、情報サービス業を営む企業のみが計上できます。

また、当該経費に係る補助限度額は1,000千円となります。（補助率は各申請コースによる）

別紙 1

経費内訳書

(システム開発経費が計上される場合、別紙2システム開発経費積算書を作成ください。)

経費項目	内 容 (購入品名等)	単価 (円)	個数	金額 (円)	発注先
設 備 費					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 複数年度にわたる申請を行う場合は、各年度の経費内訳書を作成してください。 </div>					
小 計					/
材料費・物品費					
小 計					/
外注加工費					
小 計					/
小 計					/
合 計					/

別紙 2

システム開発経費積算書

(実際に作業に従事する者のみを積算することとし、管理費用は含めないこと。)

項目		人	総時間数	原価 (1時間あたり)	計
設計		人	時間	円	円
		人	時間	円	円
		人	時間	円	円
		人	時間	円	円
		人	時間	円	円
		人	時間	円	円
製造		人	時間	円	円
		人	時間	円	円
		人	時間	円	円
		人	時間	円	円
		人	時間	円	円
		人	時間	円	円
システム開発経費 (人件費) 計					円

平成 年 月 日

(あて先) 金沢市長

住所、会社名、代表者職・氏名を記載し、会社印(角印・丸印)を押印してください。(個人事業主は個人印で可)

所在地
事業所名

代表者職・氏名

印

市税滞納有無調査承諾書

「新製品開発・改良促進事業」の適用申請にかかる審査において、貴職が、当社の市税滞納有無について調査することを承諾します。